

各 位

A b a l a n c e 株 式 会 社  
 代 表 取 締 役 社 長 吉 永 正 紀  
 (コード番号：3856 東証マザーズ)  
 問 合 せ 先： 管 理 部 長 中 西 広 祐  
 電 話： 03-6864-4001 (代表)

### 貸倒引当金繰入と貸倒損失の計上及び業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 6 月期（平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）において、貸倒引当金繰入と貸倒損失を計上するとともに、平成 29 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 29 年 6 月期通期連結業績予想値と本日公表の決算値に差異が生じたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 29 年 6 月期通期連結業績予想値と実績値の差異

平成 29 年 6 月期 通期連結業績（平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,463	百万円 601	百万円 506	百万円 312	円 銭 63.06
実績値(B)	6,495	148	82	△204	△40.87
増減額(B-A)	32	△452	△423	△516	
増減率(%)	0.5	△75.2	△83.7	—	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 6 月期)	4,539	397	426	231	45.92

#### 2. 差異の理由

太陽光発電事業において、当社子会社のWWB株式会社における一部の販売取引に係る売上の計上時期及び、同社の第三者に対する債権等に関する当社の会計上の認識について、当社は監査法人に必要な資料等を重ねて提示したうえで慎重に説明を行い、監査法人と継続的に協議を実施して参りました。当社としては、キャッシュインとアウトを含めた受注や取引状況等に基づく実質的な当期業績は順調に推移したものと認識しておりますが、監査法人と協議をした結果、上記販売取引に係る売上計上（利益ベースで 260 百万円）の次期以降への繰越し、及び上記債権等に係る貸倒引当金繰入や貸倒損失を計上（281 百万円）いたしました。尚、売上については、上記販売取引が次期以降へ売上繰越になったものの、太陽光発電事業の他案件が売上をカバーし、業績予想値を上回りました。しかしながら、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については、上記両計上に係るマイナスインパクト（541 百万円）が発生したことによりそれぞれ業績予想値を下回りました。

因みに、配当に関しては、実質的な業績の推移に鑑み、必要な内部留保を図りつつ、安定配当を継続することといたしました。

以 上